



よつば小 だより

令和4年10月7日 第9号
守口市立よつば小学校
06-6901-5425
発行責任者 校長 濱口 和久



平和を考え、自然と親しむ

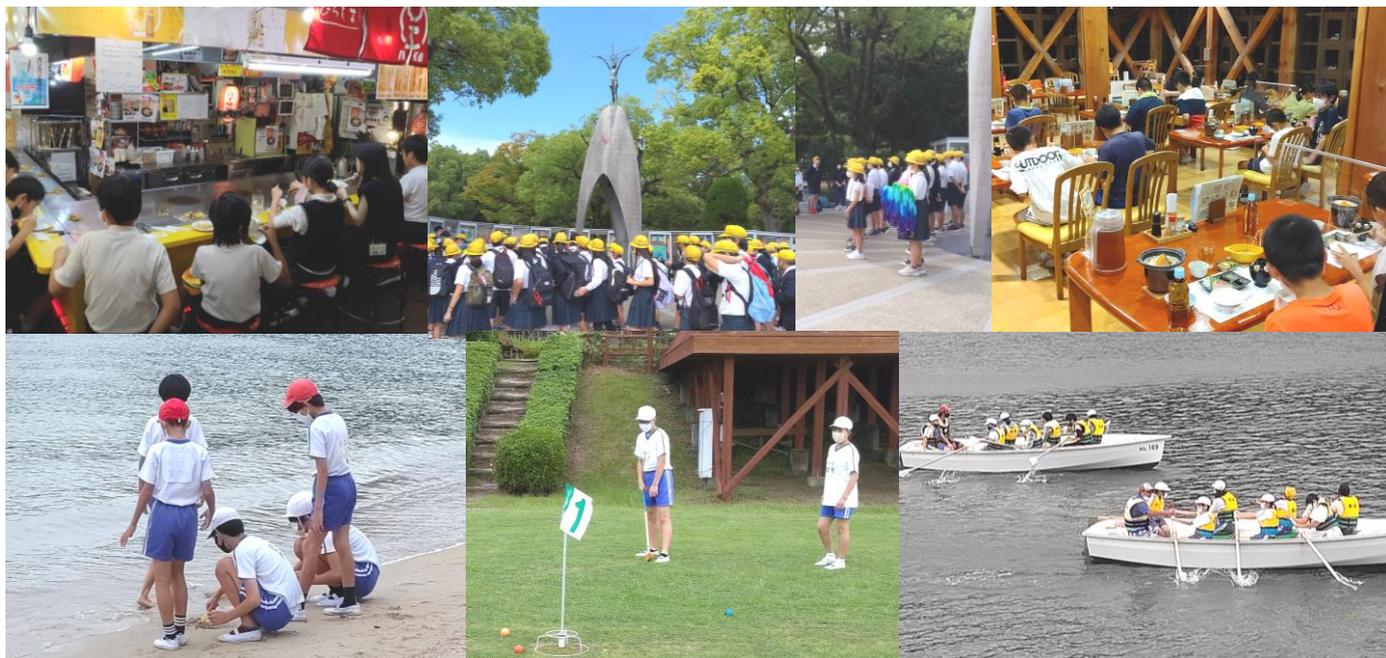
9月22日(木)、23日(金)の2日間、6年生は広島への修学旅行に行ってきました。早朝、学校に集合。眠たい目をこすりながらバスに乗り込み、一路新大阪へ。新大阪から新幹線で広島駅に到着。お昼、お好み焼でおなかを満たした後、広島平和公園へ移動。平和の子の像の前で、平和セレモニーを行い、平和へのメッセージを読み上げた後、原爆犠牲者のご冥福と世界の平和を願って黙とうを捧げました。その後、よつば小学校全児童が心を込めて折った千羽鶴を奉納しました。ボランティアガイドさんによるフィールドワークの後、原爆資料館を見学しました。そこで、原爆の非情さ、戦争の愚かさ、平和の尊さを感じたのではないのでしょうか。ぜひとも子どもたちが大人になった時に、今一度平和公園・資料館を訪ねてほしいと思います。

平和公園を後に1時間半ほどで、海と山に囲まれた自然がいっぱいの宿舎に到着。あいにく曇りのため、夜の天体観測はできませんでしたが、室内でシミュレーターを使っての専門家による星座観察を行いました。

2日目、カッター体験、グランドゴルフ、浜遊びに分かれて活動を行いました。カッター体験では、1台のカッターボートに7・8人が乗り込み、全員で息を合わせてオールをこいでいました。

グランドゴルフは、広い芝生の上でホールポストめがけてボールを転がしました。最初はぎこちなかったものの、だんだんと慣れてくると自分の思うように転がすことができるようになり、中にはホールインワン(1打でホールポストに入れる)を達成することもありました。浜遊びでは、瀬戸内の穏やかな浜辺で、海の水や砂の感触を楽しんでいました。その後、「鯛めし」の昼食をいただき、宿舎を後にバスは広島駅に。新幹線とバスを乗り継ぎ、予定より早く学校に到着しました。

この2日間の修学旅行で、平和の大切さ、自然のすばらしさを感じたことでしょう。また、みんなで協力すること、人を思いやること等、感じるものがたくさんあったと思います。この経験を次の行事や活動に活かしていってくださることを願っています。



マスクの着用について

屋外において、近距離での会話以外では、原則マスク着用の必要はありません。詳細につきましては、裏面をご覧ください。



屋外・屋内でのマスク着用について

- マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。
一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。
- 屋外では、人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**
- 屋内では、人との距離（2m以上を目安）が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**



	距離が確保できる	距離が確保できない
会話を する	<p>マスク必要なし</p>	<p>マスク着用推奨</p>
会話を ほとんど 行わない	<p>マスク必要なし</p> <p>公園での散歩やランニング、サイクリングなど</p>	<p>マスク必要なし</p> <p>徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面</p>

	距離が確保できる	距離が確保できない
会話を する	<p>マスク着用推奨</p> <p>※十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可</p>	<p>マスク着用推奨</p>
会話を ほとんど 行わない	<p>マスク必要なし</p> <p>距離を確保して行う 図書館での読書、芸術鑑賞</p>	<p>マスク着用推奨</p> <p>通勤ラッシュ時や人混みの中 ではマスクを着用しましょう</p>

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。
体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。



夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

